



2019年3月15日

各 位

株 式 会 社 光 ・ 彩  
 代表取締役社長 深 沢 栄 二  
 ( J A S D A Q ・ コード 7 8 7 8 )  
 問合せ先  
 管理部部長 野田 和幸  
 TEL 0551-28-4181

**通期業績予想と実績値の差異及び営業外収益並びに特別損失の発生に関するお知らせ**

2018年9月7日に公表した2019年1月期の通期業績予想と実績との間に、下記の通り差異が発生いたしましたので、お知らせいたします。

記

**1. 業績予想と実績値との差異について**

2019年1月期通期業績予想との差異 (2018年2月1日~2019年1月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
業績 予想 (A) (2018年9月7日公表)	2,300	70	70	50	133円57銭
実績値 (B)	2,356	88	101	86	230円38銭
増減額 (B-A)	56	18	31	36	—
増減率 (%)	2.5	27.1	45.6	72.5	—
(ご参考) 前期実績 (2018年1月期)	2,148	62	59	△37	△100円21銭

(注) 当社は2017年8月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前期実績の1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。

**2. 差異発生理由**

特許商品であるピアスパーツ及び独自技術加工の完成品ジュエリーの販売の好調や海外顧客の積極的な開拓によるこれらの商品の国外販売の増加等により、売上高、営業利益が業績予想を上回りました。

また、貸倒引当金戻入額の計上および税務上の繰越欠損金等を加味した法人税等実効税率が低かったことにより、経常利益、当期純利益が業績予想を大きく上回る結果となりました。

**3. 営業外収益 (貸倒引当金戻入額) の発生及びその理由**

2019年1月期第4四半期 (2018年11月1日~2019年1月31日) において、当社は過去の貸倒実績をふまえ、それまで計上しておりました貸倒引当金 12,490千円を振り戻し、その戻入額を営業外収益として計上いたしました。

#### 4. 特別損失（減損損失）の発生及びその理由

2019年1月期第4四半期（2018年11月1日～2019年1月31日）において、当社は保有している投資用不動産について「固定資産の減損に関わる会計基準」に基づき減損処理を行い、減損損失8,265千円を計上いたしました。

以 上